



都心部を進む（資生館小学校前）

通う人を
暮らす人を
優しく
運ぶ



降り積もる雪の中で
（石山通）



学び舎へ大切に運ぶ
（静修学園前―山鼻19条）

優しく見えるまち



安全に、より快適に
（新型低床車両試運転）

ご存じですか？市電の会



市電の会
よしなか しんたろう
吉中 新太郎 会長

「市電の会」は、市電の愛好者はもちろん、区内の連合町内会や商店街振興組合などからなる団体です。平成2年の設立以来、市電がより一層親しまれ、愛されるよう、会報誌の発行などの活動を行っています。また、賛助会員も募集しています（中央4ページ参照）。興味のある方はぜひどうぞ！



札幌の冬の顔「雪ミク電車」も、市電の会の活動の一つです

申込・詳細 地域振興課まちづくり調整担当 ☎205-3221



▲札幌のまちにさっそうとデビューした、バリアフリー対応の新型低床車両、A1200形。車内が少し広がって、揺れが少なく音も静かと大評判。

▼台車や動力装置は昭和33（1958）年に作られた330形を再利用して、車体を更新した3300形。営業運行のほか、「貸切電車」としても活躍中！



▲製造された昭和60（1985）年にちなんだ名付けられた8500形。丸みを持った従来型に比べて、直線を強調したすっきりとしたデザインが特徴。

▼かつての市電車両カラーを身にまとうM100形は、ファンから運行時刻の問い合わせがあるほどの人気者。キリリと締まった表情が、ス・テ・キ♡



▲札幌で製造された道産車両、210形。昭和33（1958）年生まれで、実はM100形（左）より3歳も上。でもまだまだ元気です！

市電 あ・ら・か・る・と